

平成19年9月26日

東北財務局  
東北財務局秋田財務事務所

台風11号及び前線による大雨にかかる災害に対する  
金融上の措置について（お知らせ）

今回の台風11号及び前線による大雨にかかる災害により災害救助法が適用された次の地域（9月26日追加含む）内の被災者に対し、秋田財務事務所並びに日本銀行秋田支店において、別紙の金融上の措置を適切に講ずるよう各金融機関、証券会社、生命保険会社および損害保険会社等に要請しておりますので、お知らせします。

金融上の措置要請日	災害救助法適用日 （公表日）	災害救助法適用地域
9月20日（木）	9月17日（月） （9月19日）	北秋田市
9月26日（水）	9月17日（月） （9月26日）	能代市

（本件に関する照会先）

東北財務局理財部金融調整官

電話：022-263-1111（内線 3715）

東北財務局秋田財務事務所理財課

電話：018-862-4193（内線 140）

(別紙)

1. 金融機関(銀行、信用金庫、信用組合等)への要請

- (1) 預金証書、通帳を紛失した場合でも預金者であることを確認して払戻しに応ずること。
- (2) 届出の印鑑のない場合には、拇印にて応ずること。
- (3) 事情によっては、定期預金、定期積金等の期限前払戻しに応ずること。  
また、これを担保とする貸付にも応ずること。
- (4) 今回の災害による障害のため、支払期日が経過した手形については関係金融機関と適宜話し合いのうえ取立ができることとすること。
- (5) 災害時における手形の不渡処分について配慮すること。
- (6) 汚れた紙幣の引換えに応ずること。
- (7) 国債を紛失した場合の相談に応ずること。
- (8) 災害の状況、応急資金の需要等を勘案して融資相談所の開設、審査手続きの簡便化、貸出の迅速化、貸出金の返済猶予等災害被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講ずること。
- (9) 休日営業又は平常時間外の営業について適宜配慮すること。  
また、窓口における営業が出来ない場合であっても、顧客及び従業員の安全に十分配慮した上で現金自動預払機等において預金の払戻しを行う等災害被災者の便宜を考慮した措置を講ずること。
- (10) (1)~(9)にかかる措置について実施店舗にて店頭掲示を行うこと。
- (11) 営業停止等の措置を講じた営業店舗名等、及び継続して現金自動預払機等を稼働させる営業店舗名等を、速やかにポスターの店頭掲示等の手段を用いて告示するとともに、その旨を新聞やインターネットのホームページに掲載し、取引者に周知徹底すること。

2. 証券会社への要請

- (1) 届出印鑑喪失の場合における可能な限りの便宜措置を講ずること。
- (2) 有価証券喪失の場合の再発行手続きについての協力をすること。
- (3) 被災者顧客から、預かり有価証券の売却・解約代金の即日払いの申し出があった場合の可能な限りの便宜措置を講ずること。
- (4) 窓口営業停止等の措置を講じた場合、営業停止等を行う営業店舗名等を、ポスターの店頭掲示等の手段を用いて告示するとともに、その旨を新聞やインターネットのホームページに掲載し、取引者に周知徹底すること。
- (5) その他、顧客への対応について十分配慮すること。

3. 生命保険会社および損害保険会社等への要請

- (1) 保険証券、届出印鑑等を喪失した保険契約者等については、可能な限りの便宜措置を講ずること。
- (2) 生命保険金又は損害保険金等の支払いについては、できる限り迅速に行うよう配慮すること。
- (3) 生命保険料又は損害保険料等の払込については、契約者のり災の状況に応じて猶予期

間の延長を行う等適宜の措置を講ずること。

- ( 4 ) 窓口営業停止等の措置を講じた場合、営業停止等を行う営業店舗名等を、ポスターの店舗掲示等の手段を用いて告示するとともに、その旨を新聞やインターネットのホームページに掲載し、取引者に周知徹底すること。

( 以 上 )